

- ☆2015春季生活闘争 第3次行動
- ☆2015春季生活闘争 第4次行動
- ☆平和集会・平和行動の日程
- ☆第18回統一地方選挙結果(埼玉県議会・さいたま市議会)
- ☆第18回統一地方選挙結果(市長・市町議会)
- ☆政策フォーラムお知らせ/青年委員会「労働法制改悪反対」街頭行動
- ☆「私の提言」募集/連合メールマガジン登録のお願い/5月の行動日程
- ☆あけぼのビル

2015春季生活闘争 第3次行動

中小企業の労働条件格差是正に関する
経営諸団体への要請行動を実施

各地域協議会の要請状況

連合埼玉は、2015春季生活闘争においても、中小・地場・未組織労働者の「底上げ・底支え」、「格差是正」に向けた取り組みとして、県の経営団体および県内市町の商工団体に対し「中小企業の労働条件格差是正に関する要請」行動をおこなった。

前号にて既報のとおり、3月18日、19日の両日、埼玉県の経営4団体に対する要請をおこない、引き続き、各地域協議会により、中小・地場企業で働く者の月例賃金の底上げと企業規模間の格差是正にむけた地域商工団体に対する要請行動を、3月下旬から4月上旬の間におこなった。

本行動は、埼玉県下全域の中小・地場企業労働者を対象に労働条件の実態調査をおこない、ポイント年齢別の最低賃金基準をミニマム賃金として設定し、それ以下の事象がある場合は本年度の改定で是正をはかり、この水準以上に引き上げることを要請するものである。また、この行動は、未組織労働者の処遇改善へも波及させるべく、各地域での街宣行動による県民へのアピールと連動した運動としても取り組んでいる。

各地域の商工団体からは、昨年4月の消費増税後の景気回復が思わしくないことや、アベノミクスによる経済効果が地場・中小企業に波及していないことなどが説明され、本運動の趣旨は理解するものの、中小・地場企業にとってはまだまだ厳しい状況であることが示された。

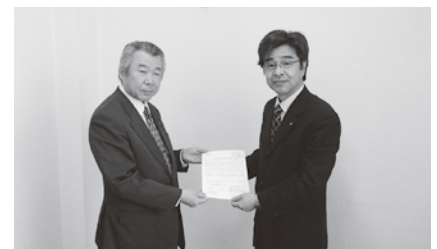
連合埼玉がおこなった経営4団体への要請行動に加えて、より地域に密着した各地域協議会による本行動をおこなったことにより、賃金の底上げ・格差是正が進展することを期待する。



さいたま地域協議会／さいたま商工会議所



比企地域協議会／東松山市商工会



川越・西入間地域協議会／川越商工会議所



北埼玉地域協議会／羽生市商工会

2015春季生活闘争4次行動(中小解決促進)

賃上げで景気の底支えを!「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅!

2015春季生活闘争における中小・地場組合の解決促進に向け、3月24日(北部ブロック/熊谷駅)、25日(東部ブロック/南越谷駅)、26日(西部ブロック/川越駅)、27日(南部ブロック/大宮駅)の4日間、各地域協議会と連携し街宣行動をおこなった。

本街宣行動では、はじめに、各ブロック担当の副会長より3月20日時点での大手組合の解決状況を報告したうえで、「賃上げ」の“波”を、就業形態、企業規模の大小、業種の垣根を越えて波及させていくことの重要性や、この後の回答が本格化する中堅・中小・地場組合への交渉支援の必要性を訴えた。あわせて、未組織労働者も含めた底支えのために連合埼玉の定める「ミニマム賃金」の確保に向け、月例賃金の引き上げが不可欠であることを強くアピールした。

その後、佐藤事務局長より、春季生活闘争は賃金

のみならず総合的労働条件の改善に向けた取り組みであるとの観点から、総労働時間の短縮および労働者保護ルールの改悪阻止に向けた運動にも全力で取り組んでいく必要があるとのアピールをおこなった。

続いて各ブロックを担当する執行委員より、それぞれの構成組織の交渉状況や労働側主張内容の報告とともに中小・地場組合への交渉支援と解決促進に向けた決意表明をおこなった。

また、本街宣行動では女性委員会より、「職場・社会におけるさまざまな性差別を撤廃し、ワーク・ライフ・バランスを確立することで、男女平等参画社会を実現していく」とのアピールも併せて実施し、県内4ブロックでの行動を終了した。

4月14日時点では、いまだ約6割の組合が交渉継続中である。引き続き交渉経過に注目し、支援をおこなっていく。



次代につなげよう 平和の尊さと戦争の悲惨さを!

～ 連合埼玉「平和集会」開催 ～

平和行動に先立ち、平和の尊さや戦争の悲惨さを風化させることなく次代に継承することを目的として、本年度も「平和集会」を開催します。今年は戦後70年の節目の年、戦争の悲惨さ、つらさ、悲しみを伝えることにより、70年続く平和な日本の素晴らしさを実感していただき、未来に平和を継承していくことの重要性を学ぶ集会とします。

日時	2015年6月13日(土) 10:00～16:00
場所	埼玉県県民健康センター 2F大ホール さいたま市浦和区仲町3丁目5番1号 TEL/048(824)4801(代)
内容	<p>【展示】 受付ロビーに於いて 10:00～16:00 「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」等を開催</p> <p>【講演】 第1部 13:00～14:45 演題:「世界からのメッセージ」～平和と命の大切さ～ 講師:渡部 陽一 氏(戦場カメラマン) ※戦争の悲惨さ、つらさ、悲しみを伝えることを目的に講演いただきますので、小さなお子様には、ショックを受ける映像が映写される可能性もあります。 その場合は付添いの保護者の皆さんの適切な対応をお願いします。</p> <p>第2部 15:00～15:45 演題:「日本がかかえる周辺諸国との紛争問題」 講師:大野 元裕 氏(参議院議員)</p>
参加対象	構成組織、地域協議会、青年委員会、女性委員会、シニア連合埼玉、福祉事業団体、連合埼玉推薦議員等、なお加盟組合員の家族での参加も受け付けます。特に平和行動への参加を予定されている方、ご検討中の方は、事前学習の場として是非、ご参加ください。

自ら考えよう平和の尊さを!

～2015連合埼玉平和行動の日程～

【平和行動in沖繩】	日程 6月23日(火)～25日(木)(後泊含む)	【平和行動in広島】	日程 8月4日(火)～6日(木)
	内容 【1日目・6/23】 ○連合2015平和オキナワ集会 【2日目・6/24】 ○ピース・フィールドワーク ○「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本改定」を求める集会・デモ行進ほか		内容 【1日目・8/4】 ○内容調整中 【2日目8/5】 ○ピースウォーク ○連合2015平和ヒロシマ集会 【3日目8/6】 ○広島市主催 広島市原爆死没者慰霊式ならびに平和記念式
【平和行動in長崎】	日程 8月8日(土)～10日(月)	【平和行動in根室】	日程 9月11日(金)～14日(月)(前・後泊含)
	内容 【1日目8/8】 ○連合2015平和ナガサキ集会 【2日目8/9】 ○長崎市主催 長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 ○ピースウォーク、万灯流し 【3日目8/10】 ○内容調整中		内容 【2日目9/12】 ○北方四島学習会 【3日目9/13】 ○平和ノサップ集会(竹島領土問題のアピール含む)他 ※平和行動in根室は、連合関東ブロック派遣団としての参加となることから、前・後泊となりますので、詳細については別途日程を提示します。

平和行動in沖繩・in広島・in長崎への献納「折鶴」を募集します

連合埼玉では、沖繩、広島、長崎の平和行動の参加者にて、平和への願いを込めた「折鶴」の献納をおこなっています。「折鶴」作成のご協力、よろしく申し上げます。

募集締め切り 7月28日(火) 連合埼玉必着

第18回統一地方選挙結果

埼玉県議会議員・さいたま市議会議員選挙(4/12投開票)

【埼玉県】 県全体投票率 37.68%

選挙区	候補者名	当落
南1区 草加市	山川百合子	当
南2区 川口市	菅 克己	当
南4区 北区(無投票)	高木 真理	当
南6区 見沼区	井上 将勝	当
南9区 浦和区	浅野目義英	当
南10区 南区(無投票)	木村 勇夫	当
南11区 緑区	松岡 耕一	落
南13区 上尾市	畠山 稔	当
南16区 鴻巣市	並木 正年	当
南21区 朝霞市	醍醐 清	当
西1区 所沢市	水村 篤弘	当
西5区 ふじみ野市・三芳町	宮崎 克彦	落
西7区 川越市	山根 史子	当
西12区 東松山市・川島町・吉見町	松坂 喜浩	当
北4区 深谷市・美里町・寄居町	江原久美子	当
北5区 熊谷市	田並 尚明	当
東3区 加須市	古澤 道雄	落
東4区 久喜市	石川 忠義	当
東6区 白岡市・宮代町	岡 重夫	当
東8区 越谷市	山本 正乃	当

網掛け部分は組織内候補者

【さいたま市】 さいたま市全体投票率 40.39%

選挙区	候補者名	当落
西区	池田 麻里	当
北区(無投票)	小川 寿士	当
大宮区	西山 幸代	当
	熊谷 裕人	当
見沼区	三神 尊志	当
	武田 和浩	当
中央区	高柳 俊哉	当
桜区	阪本 克己	当
浦和区	小柳 嘉文	当
南区	浜口 健司	当
緑区	神崎 功	当
岩槻区	松本 翔	落
	高野 秀樹	当

第18回統一地方選挙を終えて (会長談話)

連合埼玉は、今回の統一地方選挙において、地方分権の推進、地域からの反転攻勢により地域再生をめざすとともに、安倍政権が成長戦略の名のもとに進めてきた政策により拡大させた企業間格差、地域間格差、そして雇用や就労形態による所得格差など、あらゆる分野で拡大した格差の是正を強く訴え、推薦候補者の当選にむけ、取り組みをおこなってきた。

前半戦は、4月3日に「埼玉県議選」と政令指定都市である「さいたま市議選」が告示され、9日間の選挙戦

の結果、県議選では現職12人と新人5人が勝ち抜き、20人の推薦候補者中17人が当選した。また、さいたま市議選では推薦候補者13人中、現職12人が当選を果たした。連合埼玉推薦議員数は、県議会が10人から7人増、さいたま市議会は12人のまま変わらず、議席数から見れば健闘した。(右ページへ続く)

第18回統一地方選挙結果

一般市町首長ならびに議会議員選挙(4/26投開票)

【市長】 北本市投票率 55.05%

選挙区	候補者名	当落
行田市(無投票)	工藤 正司	当
北本市	石津 賢治	落



県議選候補者の応援に入る小林会長

【市町】 28市町平均投票率 43.84%

選挙区	候補者名	当落
川越市	片野 広隆	当
	高橋 剛	当
	山木 綾子	当
熊谷市	松本貢市郎	当
	黒澤三千夫	当
川口市	光田 直之	落
所沢市	赤川 洋二	当
	石本 亮三	当
	島田 一隆	当
加須市	小林 信雄	当
	野中 芳子	当
東松山市	関口 武雄	当

選挙区	候補者名	当落
狭山市	内藤 光雄	当
越谷市	松田 典子	当
	石井 孝幸	落
	大石美恵子	落
和光市	小嶋 智子	当
	菅原 満	当
北本市	今関 公美	当
鶴ヶ島市	高橋 剣二	当
ふじみ野市	民部 佳代	当
伊奈町	青木 久男	当
毛呂山町	岡野 勉	当

網掛け部分は組織内候補者

26日投開票にておこなわれた後半戦の「首長選挙」と「市・町議選挙」においては、首長選2名中1名の当選、一般市町議選23名中20名当選であった。その結果、前半戦の当選者ならびに非改選議会議員を含め、連合埼玉推薦議員は68名となった。

今回の選挙においても、投票率の低さが問題であり、県議選ならびに市町議会選挙において、史上最低だった前回を下回り、ワースト記録を更新した。県民の政治に対する不信感や政治離れは依然として根深いと言わざるを得ない。したがって、投票率の向上は継続して取り組まなければならない重要課題である。

最後に、第18回統一地方選挙で築いた地方議会で、行政機能を十二分に発揮させ、生活基盤と地域経済を安定・安心させなければならない。そして今回当選した候補者のみならず、惜敗した皆さんも含めて「今後4年間を地域でどう活動するのか」を改めて考えていただきたい。地方議員の皆さんと構成組織・地域協議会との連携が一層深まることを期待するとともに、全構成組織ならびに全地域協議会、そして全ての加盟組合と組合員の皆さんのご支援とご協力に心から感謝を申し上げます。

—政策制度要求実現に向けて—

2015年度「政策フォーラム」の開催について

2015年度政策制度要求の実現に向け、「構成組織・地域協議会・推薦議員」の参加で課題認識の共有化をはかるとともに、今年度の要求案づくりを目的に開催します。

また、相互の交流を深め、より活発な議論をすることにより政策・制度実現に結び付けていきたいと考えています。参加申込は連合埼玉発信文書第85号をご参照ください。

日 時	2015年5月22日(金) 10:00~17:00
場 所	さいたま共済会館6階 601・602会議室
参加要請	連合埼玉執行部、構成組織、地協役員、推薦議員、シニア連合役員、青年委員会、女性委員会
内 容	①講演:安倍政権で働き方はどう変わる?~労働規制緩和にどう立ち向かうのか~ 講師:東海林智(とうかいりん さとし) 氏 ②埼玉県への政策制度要請の回答報告 ③分科会 ※各分科会のテーマについては下記をご覧ください。

分科会	テーマ(案)
A	働き方改革の実現に向けて ~「働きがいのある職場」から働き方改革を考える~
B	脅かされる食の安全 ~消費者目線での考えるべきこととは~
C	介護疲れで、共倒れや命を絶つ社会を無くすために ~介護ケアラー(介護をする人)から見る課題とは~
D	児童生徒を犯罪から守ろう ~中学校教諭が語る事件の再発防止策とは~

私たちの未来、わが国の未来を奪うな!

~ 青年委員会 若者の立場で、「労働法制改悪反対」を訴える ~

連合埼玉青年委員会は、3月30日(月)18:00より、浦和駅西口駅頭において「労働者保護ルール改悪反対」の街頭宣伝活動をおこなった。この街頭宣伝活動は、いま国会に提出されている各種労働法制法案の問題点を、若者の視点から訴えるものである。

街頭演説の中で、矢口昌広青年委員長は、自分たちの将来だけでなくその次の世代、またこの国の未来に禍根を残さないために、全力を挙げて法案成立阻止をめざすことを訴え、この法案の問題



チラシ入りティッシュを配布する青年委員会幹事




青年の立場で労働法改悪を訴える、矢口委員長

点を理解し、働く方だけでなく国民の皆さんすべての方へ廃案にするための協力を訴えた。

また、青年委員会の幹事により、労働法制改悪反対を訴えるチラシ入りのティッシュを街ゆく人々に配布し、いま国会で何がおこなわれようとしているのかの周知をおこなった。

この街頭宣伝活動は、3月・4月の幹事会前に実施することを確認しており、またそれ以外にも実施していく予定である。



私の提言
「働くことを軸とする安心社会」
の実現に向けて
募集

具体的な
提言を
待っています!

みんなて
応募
しよう!!

応募締切 2015年8月17日(月) 必着

表彰 優秀賞 表彰盾と副賞 **20万円**
佳作賞 表彰盾と副賞 **10万円**
奨励賞 表彰盾と副賞 **3万円**
☆応募者には、もれなく記念品を進呈
(除く、入賞者)

募集内容
連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の
実現につながる具体的な提言をお寄せください。
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募資格
どなたでも応募できます。

応募方法
電子媒体(E-mailなど)による応募

応募先・問い合わせ先
公益社団法人 教育文化協会
電話 03-5295-5421
E-mail info-ilec@ebu.jtuc-rengo.or.jp

詳しくは

連合は、初代事務局長である故・山田精吾氏の遺志を受け創設された「山田精吾顕彰会の論文募集」事業を継承し、2004年から「私の提言 連合論文募集」をおこなってきました。

第12回目となる今回も、連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる提言を広く募集します。皆さんからの提言を活かしながら、労働運動をさらに前進させたいと考えています。

連合メールマガジン登録のお願い

連合本部では、2014～2015運動方針に掲げた「連合全体で取り組んでいる課題についての情報が、直接、構成組織の単組や支部まで届く仕組みを構築する」ことを具現化するため、連合メールマガジン(ユニオンメールマガジン 通称:ユニマガ)の配信を始めました。主旨をご理解いただき、構成組織、加盟組合の役職員皆様のメールアドレスのご登録をお願いします。

- ①発信日：基本的に毎月05日(れんごーの日)に発信予定
- ②発信方法：地方連合会ならびにその役職員、ならびに地協の役職員のパソコンメールまたは携帯・スマホメール宛にメールが配信されます。
- ③送信先アドレス登録方法：登録専用画面(非公開)にて、アドレス・組織名のご登録をお願いします。

<ユニオンメールマガジン登録URL> <https://www.jtuc-rengo.or.jp/unimag/>

登録頂いた月の翌月の5日に配信が開始されます。

詳細は、発信文書第89号(4/9発信)をご確認ください。

現在予定される5月の日程表です

5月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 金		北埼玉地域メーデー(行田地区9:30～・さきたま古墳公園・羽生地区10:00～・中央公園自由広場)
2日 土		
3日 日		
4日 月		
5日 火		
6日 水		
7日 木	第2回組織委員会(10:00～・連合埼玉会議室)	
8日 金		
9日 土		
10日 日		
11日 月	①第6回四役会議・拡大執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②組織拡大推進者連絡会(15:30～・ときわ会館) ③労金埼玉県本部事業報告会(17:10～・ときわ会館)	
12日 火	①政策・制度委員会(13:00～・連合埼玉会議室) ②第2回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・ネット21大宮) ③女性委員会第5回幹事会(18:00～・連合埼玉会議室)	本庄・児玉郡市地域協議会第3回幹事会(18:30～・本庄市中央公民館)
13日 水	青年委員会「国会見学」(9:30～・印刷局、国会議事堂)	①経営者協会「定時総会」(13:30～18:00・パレスホテル大宮) ②比企地域協議会幹事会(18:00～・労金東松山支店)
14日 木		埼玉労福協「第8回理事会」(10:00～・ときわ会館)
15日 金		①JAM埼玉「第18回チャリティゴルフ大会」(サンコー72カントリークラブ) ②連合「国会前座り込み」(9:00～・永田町)
16日 土		
17日 日		
18日 月		連合「政策・制度中央討議会」(13:00～ 19日・ホテルレバント)
19日 火	第4回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	
20日 水	組合役員教育プログラム⑨(13:00～・あけぼのビル501)	東部地域協議会幹事会(18:30～・ネット21久喜)
21日 木	ネット21「2015年度第1回評議員会」(10:00～・ときわ会館)	①関東ブロック「2015退職者連合代表者会議」(14:00～ 22日11:30・メルキュールホテル成田) ②非正規労働センター構成組織・地方連合会合同担当者会議(14:00～ 5/22・TKP市ヶ谷カンファレンスセンター) 第3回構成組織・地方連合会女性代表者会議(13:30～・日本教育会館)
22日 金	政策フォーラム(10:00～・さいたま共済会館)	①災害ボランティア救援隊「隊員研修(初級編):JAM-ARCS隊」(9:30～16:00・JAM埼玉友愛会館) ②連合「安心と信頼の医療と介護」2015中央集会(10:00～・ホテル・イースト21東京)
23日 土	組合役員教育プログラム⑩(13:00～・あけぼのビル501)	茨城県議会議員選挙告示日
24日 日	災害ボランティア救援隊「隊員研修(中級編)」(9:00～17:00・さいたま市見沼区役所)	①連合「男女平等推進委員会委員長会議」(13:00～17:30・中央大学駿河台記念館) ②埼玉県生産性本部「平成27年度定時総会」(15:00～19:00・埼玉会館) 連合「最低賃金担当者会議」(13:30～15:30・東京YMCA会館)
25日 月		
26日 火		
27日 水	①第2回労働政策委員会(10:00～11:30・連合埼玉会議室) ②組合役員教育プログラム⑪(13:00～・あけぼのビル501) ③STOP THE 格差社会「全国統一集会IN埼玉」(17:30～19:20・さいたまスーパーアリーナTOIRO STUDIO)	
28日 木	災害ボランティア救援隊「隊員研修(中級編)」(9:00～17:00・さいたま市防災センター)	①建設埼玉「第46回定期大会」(10:00～・大宮ソニックシティ) ②埼玉労福協「社員総会」(10:00～・ときわ会館)
29日 金	女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)(10:00～・あけぼのビル501)	関東ブロック「最低賃金担当者会議」(14:00～17:00・連合東京)
30日 土	組合役員教育プログラム⑫(13:00～・あけぼのビル501)	
31日 日	災害ボランティア救援隊「隊員研修(中級編)」(9:00～17:00・さいたま市岸町公民館)	①北埼玉地域協議会組織代表者会議(13:00～ 6/1) ②茨城県議会議員選挙投票日

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆一定の成果が得られた統一地方選挙

第18回統一地方選挙は、前半戦(県議選、さいたま市議選)が4月12日、後半戦(市・町長選、市・町議選)が4月26日の投開票でおこなわれた。

第18回統一地方選挙は、「働くことを軸とする安心社会」をはじめとする連合の政策実現に向け、「働く者・生活者」の立場にたった地域の政治勢力拡大をはかる重要な闘いと位置付け、構成組織ならびに地域協議会と連携し取り組んだ。

連合埼玉推薦候補者の選挙結果は4頁から5頁に掲載したが、結果だけを捉えれば一定の成果を得ることができた。しかし、推薦候補者数を4年前と比較すると県議選は14名減、さいたま市議選は6名減、一般市・町議選は6名減となっている。民主党が候補者を絞り込んだこと、また、この4年間で民主党離党者が多数いたことが、推薦候補者の減に繋がったと言えよう。

従来のように推薦候補の選定を組織内候補や民主党公認・推薦候補に固執しては、連合の政策実現や政治勢力の拡大に繋がらないと考え、今回の選挙において推薦基準を一部見直した。

推薦組織の有無にかかわらず、「連合の政治理念や政策の基本的考え方を共有し、その実現に向けて協働できる立場で活動してきた候補者、または活動しうる候補者で、人格、見識、行動が、連合埼玉が取り組む候補者としてふさわしい候補者」であれば、推薦候補者とするを新たに決定し、候補者選定に取り組んだ。

県議選では推薦候補20名中6名が新たな推薦基準で推薦した候補者であり、6名中5名が当選した。候補者推薦・支援のあり方、選挙戦の取り組み等、組織における総括は改めておこない、民主党県連とも総括をおこなうこととした。

◆歯止めがかからない低投票率

選挙結果については一定の成果を得られたものの、投票率の低下に歯止めがかからない。東日本大震災直後の自粛ムードの中でおこなわれた4年前の選挙と比べ、県議選は前回より1.86ポイント低い37.68%。初めて40%を割り込み過去最低、全国ワースト1位となった前回はさらに割り込み、ワースト1位は免れたものの千葉県に次いで全国ワースト2位となり、汚名返上とはならなかった。

さいたま市議選の投票率は40.39%で、前回の43.60%

より3.21ポイント下がり、2003年におこなわれた初の市議選以降で最も低投票率となった前回はさらに下回った。後半戦の市・町議選の投票率は、前回と比べ1.66ポイント減の43.84%と過去最低を更新した。

とりわけ気になるのは県議選である。有権者に身近な市・町議会とメディアへの露出度が高い国政の狭間に位置する県議会は、有権者からは見えづらく、身近に感じたい。今回の県議選で最も投票率の低かった選挙区は、西10区(坂戸市)の28.63%、続いて東10区(三郷市)28.77%、西6区(富士見市)29.62%。西10区は定数1に対して候補者2名、自民現職の圧勝。東10区は定数2に対して候補者3名、自民現職と無所属新人が共産新人を破った。西6区は定数1に対して候補者2名、自民現職が共産新人を大差で破った。

投票率ワースト3までの選挙区だけを捉えれば、結果は見えている、投票したくても一票を投じたい政党や候補者がいないなど、有権者の多くはそんな政治への不信感を抱き棄権を選択したのではないかと推察できる。しかし、投票率の低かった他の選挙区が、同様の選挙区情勢であったかと言えば決してそうではない。

議会制民主主義の正統性を揺るがしかねない危機が迫っている今、政治家は有権者の政治に対する不信感や政治に向き合うための弊害を取り除く努力を惜しんではならない。ましてや、政党や候補者の魅力が乏しいままでは問題の根源が解消されるわけではない。

◆政策実現に向け尽力を

今回の選挙で多くの候補者が、人口減少・高齢社会が進む中で、医療・介護環境の整備、子育て支援、地域経済の活性化と雇用創出、議会改革などの必要性を訴えた。どれをとっても喫緊の課題であり、待ったなしで取り組まなければならない政策ばかりである。

会派横断的な協議の場を増やし、民意を受けた議員が是々非々の態度で開かれた議論を展開し、政策の実現に向け尽力することを望む。また、このことが議会を身近なものとし、投票率向上へと結びついていくのではないだろうか。

選挙に勝つことや議員になることは目的ではなく、自分がめざす政策をつうじ、県民・市民・町民の生活を守ることが政治の目的である。そのためにも、4年後の選挙も視野に入れ、日常の政治活動に取り組むことを忘れてはならない。

今回の選挙で当選した推薦候補者には改めて敬意を表すると同時に、惜敗した推薦候補者には、捲土重来を期すための活動の継続を望む。

最後に第18回統一地方選挙でご支援いただいた多くの皆さんに感謝を申し上げる。

2015.4.27